

OPENNESS! 未来をつくる デザインフォーラム

鳥取県立美術館 開館2年前
カウントダウンイベント第二弾

2023.
3.21 [火・祝]
in 倉吉 - 参加無料 -

2年後に開館する鳥取県立美術館では昨年、美術館のロゴ・シンボルマークを募集し、1700点余りの応募の中からこのたび最優秀作品を選定いたしました。美術館にとってデザインとは活動の根幹にかかわるテーマです。建築のデザインにはじまり、サイン計画や展示プラン、広報物やカタログのデザイン、さまざまな分野におけるデザインの集大成として美術館とその活動が存在しているといってもよいでしょう。このたび、鳥取県立美術館の開館準備の一環として、ロゴ・シンボルマークの審査結果発表と授賞式に合わせて、建築デザインから美術館のブランディング、コミュニティー・デザインといった幅広い分野の専門家の方を招いて「美術館とデザインとの幸せな関係」をテーマにシンポジウムを開きます。多くの方の来場をお待ちしています。

[司会] 濱井 文栄 (はまい・ともえ | フリーアナウンサー)

第一部 11:00 - 11:40

ロゴ・シンボルマーク 審査結果発表 & 授賞式

最優秀賞・優秀賞・特別賞の発表
決定したデザインのコセプト説明

同時開催 | 応募作品展

期間 | 2023年3月18日(土) PM ~ 3月24日(金)
会場 | 鳥取県立倉吉未来中心1F アトリウム

応募作品 1726点のうち、約 1000点を展示します。
各賞受賞作品および上記展示作品は、授賞式終了後にプレザ
イトにも掲載予定です。

会場 鳥取県立倉吉未来中心セミナールーム3
(鳥取県倉吉市駄庭寺町2-12-5)

定員 各 120人 (事前申込 60人、当日参加 60人)
当日は各回 30分前から開場・受付

申込 WEB フォームまたは 往復はがき 3/6(月) 必着
締切後 1週間を目安に当落をご連絡します
(WEB 申込の方はメール、ハガキ申込の方はハガキを発送)

[ハガキ記載事項]

- 参加希望者全員の氏名 (ふりがな) *4人まで
- 年齢 (学年) 住所 電話番号
- 第一部、第二部の参加希望

*参加者の方へ配慮が必要な事項、ゲストへの費用
などありましたらあわせてご記入ください。

[ハガキ送付先]

〒682-0012 鳥取県倉吉市清谷 325
ワーキングギャラリー SISU2F
鳥取県立美術館パートナーズ イベント担当

▼詳細・申込



※ご記入いただいた個人情報は、本イベントの運営 (受付・抽選・選考) 以外の目的には使用しません。
ご了承ください (お問い合わせ先は、必ずお読みください)

第二部 13:00 - 15:30

スペシャルトーク 美術館とデザインとの幸せな関係

■鳥取県立美術館の紹介 (50分)

建築計画、学芸部門の取り組み、運営のコンセプトについて担当者がお話します。

[建築] 長谷川 龍友 (はせがわ・たつとも | 建築総合計画事務所 取締役副所長)

[学芸] 三浦 努 (みうら・つとむ | 鳥取県教育委員会美術部整備局美術部整備課 参事)

[運営] 赤尾 靖枝 (あかお・やすえ | 鳥取県立美術館パートナーズ 総括マネージャー)

■ゲストトーク…それぞれの活動紹介・クロストーク・質疑応答 (100分)

[ゲスト]



西澤 徹夫 (にしざわ・てつお)

2000年、東京藝術大学美術学部美術研究科建築専攻修了。2000年~2005年 青木淳建築計
画事務所 2007年より西澤徹夫建築事務所 パウ・クレア 展 (2011年)、Replay 展 (2015年)
(東京国立近代美術館)、森村泰昌展 (2022年) (京都市京セラ美術館) 会場デザインや、
東京国立近代美術館展覧会ギャラリーリニューアル (2011年)、京都市美術館 (2019年)、
八戸市美術館 (2021年) など



桐山 登士樹 (きりやま・としき)

1987年から35年にかけてデザインの可能性を探り、さまざまな基盤づくりや、横断的
な活動を実践。1993年から富山県のデザイン振興に携わり、行政の枠を超えた活動を
実践しデザイン先進県富山を創り上げる。現在、株式会社 TRUNK ディレクター、富山県
社会デザインセンター所長、富山県美術館副館長。これまで「ニューヨーク近代美術館
別現代デザインに見る素材の役割」「イタリアと日本 2001 - 生活のデザイン展」他



大田 佳栄 (おおた・よしえ)

スバイクルキュレーター、株式会社ワコールアートセンタープロデュース部アートプロデュース課長、
情報誌の編集者を経て、2001年同社入社。2004年より国内外のアートプロジェクトを多角的に推進、
現代美術を軸にした新協会・フェスティバルのキュレーション、国際事業推進などを担う。2012年
より国際交流事業「Port Journeys」ディレクター (横浜・参の森テラス)、「道後オンセナート 2022」
「道後アート 2023」キュレーター、2022-2023、京都府文化庁による未来づくり審議会委員。

[モデレーター] 尾崎 信一郎 (おさき・しんいちろう | 鳥取県教育委員会美術館整備局美術振興監)

[協力] JA 鳥取中央

[後援] 鳥取県デザイナー協会、県立美術館と共に歩む中部地区の集い協議会、とっとりプラットフォーム5+α